

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.1018
2024.5.19

日本共産党さいたま市議会議員団

TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

ご意見・ご要望はこちらにお寄せください



発行

松村 としお
久保 みき
金子 あきよ

とば めぐみ
たけこし 連
池田 めぐみ

震災からの復興と男女共同参画事業をまなぶ

市議団で仙台を視察



被災地の復興を再開発について説明を受ける

4月24日、党市議団として宮城県仙台市を行政視察しました。

はじめに報告を受けた東日本大震災後の被災地エリア再開発をおこなう「海浜エリア活性化事業」では、防災集団移転促進により仙台市が買い取った土地（集団移転跡地）をあらたな魅力や賑わいを創出することをめざして、民間の自由な発想による利活用を進めるとりくみで、現在は38区画すべてで利活用（飲食や温泉など）が決定しています。

党市議団が重視したのは、災害後のまちづくりにおける「住民の意思反映」についてです。本市では津波被害等は想定されていませんが、河川氾濫等で大きな被害が出た際に、市民意見をどのように取り入れていくのが課題です。

困難を抱える女性へアプローチ

続いて、困難を抱える女性に向けたアウトリーチ型相談事業「ト



男女共同参画事業についてうかがう

ナカフェせんだい・夜まわり事業」と男女共同参画事業についてお話をうかがいました。「トナカフェせんだい」とは、仙台市と地元NPO法人が連携しながら週1回、仙台駅周辺の繁華街の夜まわり活動をおこない、女性の相談活動

与野中央公園オープンミーティング報告書を市長に提出

5000人アリーナ建設は市民の声をいかした計画に

5月7日、中央区選出のさいたま市議5名が、清水勇人市長に対して「与野中央公園オープンミーティング報告書」を手渡しました。

この報告書は3月20日に5人の市議が共同で主催した与野中央公園5000人アリーナ計画についての討論会の報告書です。内容は、当日の議論の様子を簡潔に伝えるとともに、市民から出された反対意見（緑化空間の確保やアリーナのサイズは大きすぎる、説明のプロセスなど）と賛成意見（アリーナの経済効果を期待する、人が集まれる施設ができるなど）を記載し、計画の進捗を広く市民向けに適宜説明し、市民の意見も参考にして与野中央公園の整備を進めること、また今回のミーティングで出た意見について誠意をもって検討することを求めています。

報告書を受け取った清水市長は「会派を超えて中央区の市議がこうしたとりくみをおこなったことは受け止めたい」と述べ、それぞれ5人の市議から意見を聞きました。



市長（右から3人目）に報告書を手渡す中央区の5市議（右から2人目はたけこし市議）

たけこし市議は「会派を超えて5名の市議が共同でとりくんだこと自体が、この問題の重要性を示していると思う。私が代表質問で指摘した点も考慮して再考してほしい」と発言しました。

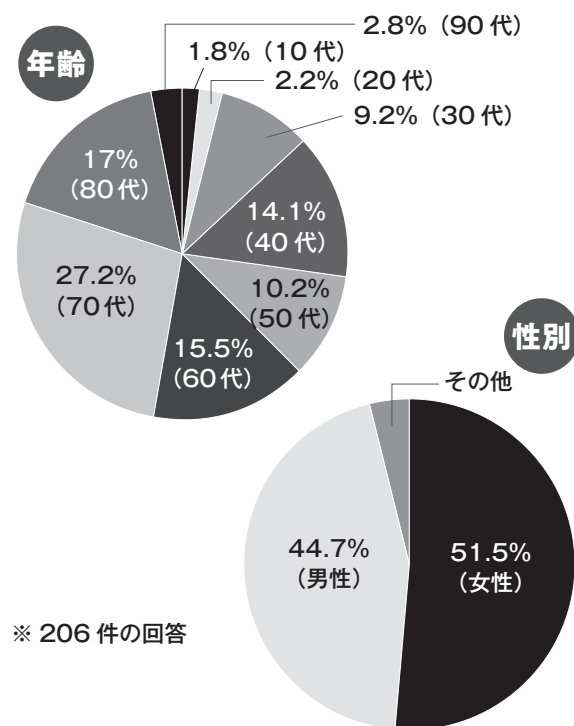
他の市議からも「ミーティングを通じて、賛成反対の意見を出しあうことで一致できる点（緑化空間の確保、施設の適正規模など）があることが分かった」と前向きな意見も出されました。党市議団として、引き続きこの問題に全力でとりくみます。



市庁舎跡地の利用 市民の声を市政へ

2030年にさいたま市庁舎が現在地（浦和区常盤）からさいたま新都心に移転することが決定しましたが、現庁舎の跡地利用については、2025年度に利活用計画（骨子）を策定予定です。市民の声を反映した跡地利用を市に求めるため、浦和区の池田めぐみ市議を中心に、市議団で「どうする？市庁舎跡地の利用」というアンケートを実施し、声を集めました。回答数は206件（インターネット回答85件、用紙での回答121件）。小学生から90代まで幅広い方が回答しました。

最初の設問は、「浦和の好きなところ」「浦和のまちづくりで大切にしてほしいこと」で、多くの方が「文教都市」「歴史ある街並み」「緑や自然の多さ」「静かで落ち着いている雰囲気」



をあげました。続いて「さいたま市庁舎の跡地利用」については、希望の利用方法を項目化し、複数回答可で、回答してもらいました。

1位 防災公園	101件
2位 子どもの遊び場	69件
3位 美術館や博物館などの文化施設	63件
4位 子育て関連施設	50件
5位 病院	48件
6位 図書館	45件
7位 プールやジムなどのスポーツ施設	35件
8位 大学などの学校	17件
9位 商業施設	13件
10位 その他	22件

その結果、圧倒的な1位は、「防災公園」でした。元日の能登半島地震や、4月の台湾地震を受けて、災害に備える拠点を希望する声が多く、「普段は市民が憩う公園であり、いざという時には避難場所として、炊き出しや給水、充電施設、シャワー室、トイレなどとして利用できる機能がほしい」というご意見が多数ありました。

2位は「子どもの遊び場」ボール遊びなど、子どもが元気にのびのび遊べる公園を望む声が多く、例年の猛暑を懸念して涼める場所の必要性を指摘する声もありました。3位は「美術館や博物館などの文化施設」で、ビルの中のうらわ美術館では収蔵庫や常設展示室が少ない、新

しい浦和画家を育てる施設や、歴史や文化を豊かに伝える拠点がほしいという要望が多く寄せられました。4位の「子育て関連施設」は、認可保育園や放課後児童クラブのほか、子どもと様々な世代の方が触れ合えるコミュニティ施設ができないかというご意見がありました。多様な立場の市民が接点を持てるコミュニティスペースを作ることで、お互いを助け合い、認めあえる場が、これからの時代に必要ではないかなどの声も複数ありました。5位の「病院」は、医師や看護師が不足している現状から大学病院を望む声が多く、とくに安心して子どもを産むための「産科」設置の希望がありました。

その他、自習室が人気の大宮図書館などを例にあげ、人が集まる図書館を希望する声や、レジャープールの削減を進めるさいたま市で、全天候型の室内プールをつかってほしいという声、体育館やジムなど体を動かせる施設がほしいという声も寄せられました。

今後、市議団では、このアンケート結果を受けて、「防災公園」や「子どもの遊び場」など他市の先進事例を視察し、市民の声を反映する市庁舎跡地利用となるようさいたま市に要望書を提出する予定です。「市庁舎跡地をどんな使い方にするかは、次世代へのプレゼントだと思う」という声もあり、経済効果だけでなく、本市の今後につながる跡地利用を市民と共に考えることを、市に求めています。

- 4月の活動報告 ● ダイジェスト
- 2月議会以降、党市議団はさまざまなくみをおこなってきました。
 - 4月10日（水）
2月議会報告ビラが完成
 - 4月17日（水）
「原山市民プールをなくさないで」の署名追加提出に同席
 - 4月18日（木）
JCHO跡地問題を考える会と市との懇談に同席
 - 4月19日（金）
女性議連の視察で男女共同参画センター横浜フォーラムへ
 - 4月22日（月）
自衛隊大宮駐屯地周辺への土地利用規制法の適用について担当課よりレクを受ける
 - 4月22日（月）
きょうされんと懇談
 - 4月22～23日
仙台視察。防災のまちづくりと男女共同参画のとりくみに学ぶ
 - 4月26日（金）
鴨川の水害をなくす会との懇談
 - 4月27日（土）
岩槻区にて議会報告会
 - 4月30日（火）
さいたま市ミモザの会による「公務労働とジェンダー」学習会参加
- これらのとりくみを議会活動にいかしていきます。

あなたの身近な市議会議員です

緑区 松村としお	桜区 久保 みき	南区 金子あきよ	見沼区 とばめぐみ	中央区 たけこし連	浦和区 池田めぐみ